

近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科

院長 和田 恵美子

リハビリテーション科医局

医師の異動

亀田総合病院専攻医：釧持洋美医師（2024年10月赴任～2026年9月までの予定、3階東担当）

高知大学専攻医：中嶋桃子医師（2024年4月～9月末3階東担当、2024年9月～2025年3月末まで半年間大学赴任中も二週に一度木曜日の午後に来院してボツリヌス治療、2025年4月より6階東担当、火曜日に地域枠のためにくぼかわ病院出張）。

松本道明医師退職（2025年6月末）

中山衣代医師定年（2025年12月）のため委員会業務などは他の医師が担当。

そのため3階東釧持、西和田、4階西山本、5階東日浦、西青山、6階東中山、西中山/青山→中嶋/青山医師が担当した。

外来は月曜日山本、火曜日青山、水日浦、木和田、金曜日は和田・青山・中山で書類外来を継続した。ボツリヌス外来は中嶋医師が金曜日に追加で対応。月木和田、火青山は続行。

学生研修：8名（高知大学2、大阪医科薬科大学5、群馬大学1）

研修医研修：2名（八木啓医師、宮地博紀医師）

リハビリテーション病院

2023年3月15日より4東病棟を閉鎖しており継続している。4階は西ユニットのみで運営。

医師体制強化加算が2024年4月より廃止。また看護師不足のため4階西病棟は閉鎖継続しており、その影響で4階病棟が入院料3となっていたが2025年4月より入院料1に変更した。

年間退院患者疾患内訳

退院患者数の総数は725名であり2019年以来に700名を突破した。平均在院日数は77.9日と減少した。急性転化率は11.2%と上昇、平均年齢71.7歳と大きな変化なし。（図1）

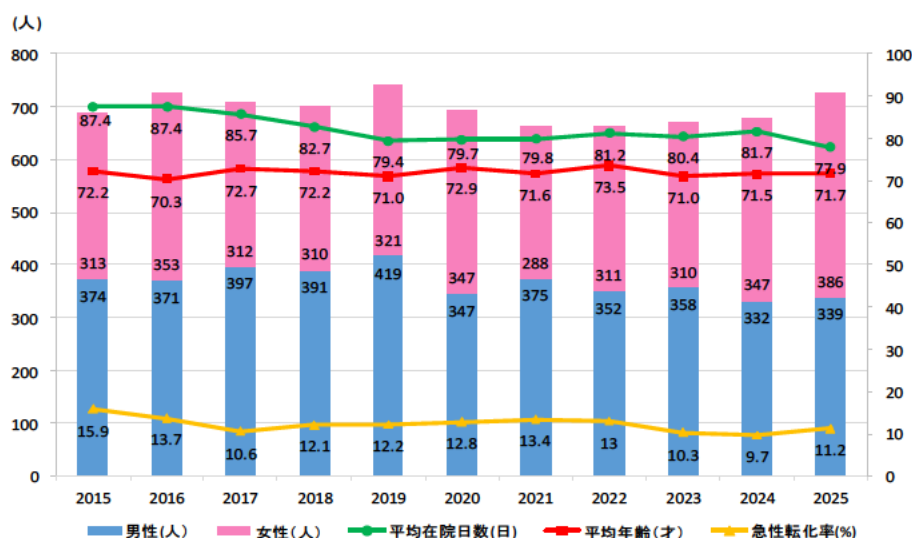
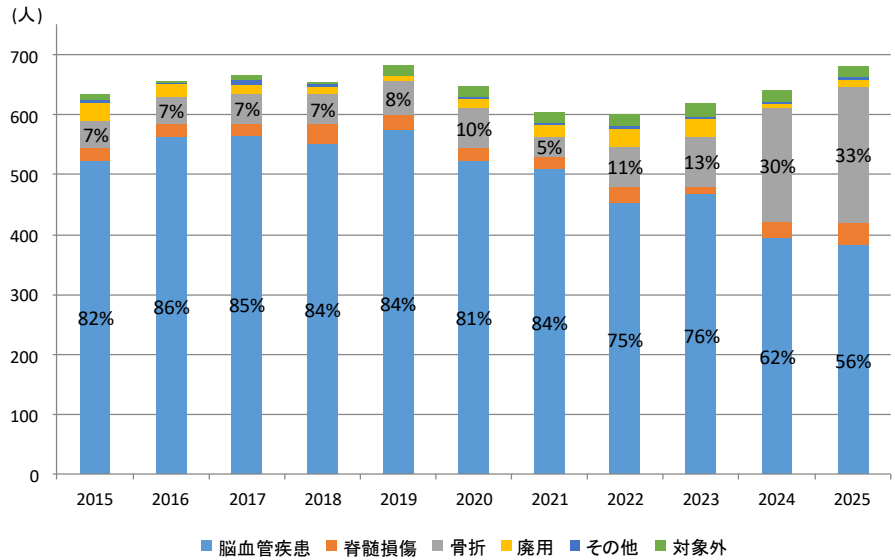


図1 各年の1月1日～12月31日退院患者より集計

疾患内訳で脳血管疾患は 384 名、56%であり、さらに減少している。骨折は 226 名 33%と増加し、総数も回復した。近森病院からの重症患者を 2024 年より受け入れ制限継続している。
(図 2) また今年は初めて近森病院からの受け入れ 49.3%他院 50.7%と逆転した。高知赤十字病院、高知医療センターがほぼ同数である。



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
脳血管疾患	522	562	566	551	574	522	509	453	467	395	384
脊髄損傷	23	23	20	35	27	23	21	28	15	26	36
骨折	45	45	49	48	54	66	33	67	80	190	226
廃用	30	21	14	13	10	17	20	28	31	8	13
その他	4	2	9	4	0	2	5	5	4	2	4
対象外	10	3	7	2	18	16	17	20	21	19	17
総数	634	656	665	653	683	646	605	601	618	640	680

図2 年間患者疾患内訳(新規入院患者のみ) 2015年～2025年

入院時平均看護必要度/重症率/重症患者回復率/リハ単位数（平均）/自宅復帰率

入院時看護必要度は6.4と大きく減少している。しかし近森病院からの患者の重症度を除外しているため重症率は46.4と十分クリアしている（近森病院を含めると31.0）。重症患者回復率は57.3%と大幅に改善した。整形疾患の増加の影響もありリハ単位数は6.5。自宅復帰率は80.7%と良好であった。（図3）

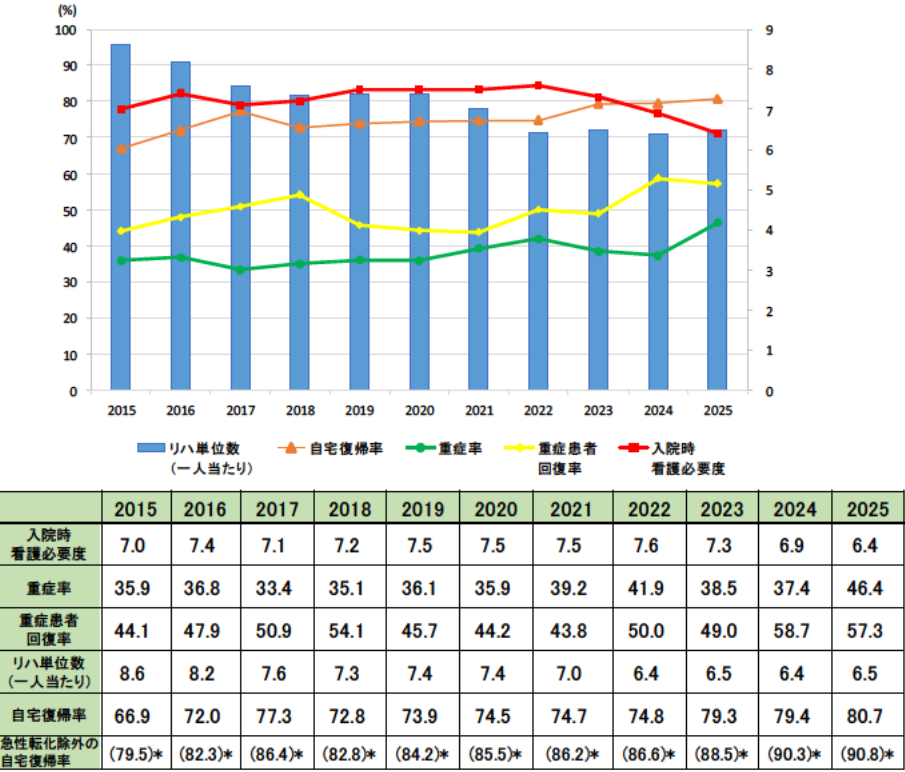


図3 各年の1月1日～12月31日退院患者より集計

治療成績

平均年齢は72.7歳、入院前期間は23.3日と延長。入院期間は84.4日とさらに短縮している。入院時FIM74.5とさらに高い傾向であるが退院時FIM100.0とFIM gain25.5は維持できている。（図4）

	年齢		入院前期間		入院期間		入院時FIM		退院時FIM		FIM gain		FIM効率	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
2015年(n=524) 急性転化(100人)	72.1	75	25.8	23	95.6	90	71.6	74.5	93.0	106	22.0	19.5	0.26	0.24
2016年(n=571) 急性転化(82人)	72.3	75	24.8	21	94.3	89	72.3	75	95.3	109	23.1	21	0.29	0.24
2017年(n=592) 急性転化(66人)	71.9	74	21.5	18	90.4	86	74.7	78	98.8	112	24.0	21	0.30	0.27
2018年(n=568) 急性転化(83人)	72.1	75	22.5	18	87.9	87.5	74.9	79	98.9	111	24.0	22	0.32	0.29
2019年(n=588) 急性転化(77人)	71.5	74	22.8	18	86.7	80	72.0	75	94.7	108	22.8	20	0.32	0.27
2020年(n=551) 急性転化(79人)	72.7	75	21.9	18	86.7	83	71.3	75	96.1	110	24.8	24	0.36	0.33
2021年(n=512) 急性転化(76人)	72.2	74	22.8	18	91.3	88	69.3	72	93.2	108	23.9	21	0.32	0.29
2022年(n=581) 急性転化(76人)	73.5	75	24.3	18	91.4	86	66.6	69	92.3	105	25.5	23	0.32	0.29
2023年(n=597) 急性転化(59人)	71.1	75	23.1	18	87.2	83	69.3	72	94.3	108	25.0	22	0.39	0.31
2024年(n=561) 急性転化(59人)	72.3	75	22.7	18	88.0	85	72.7	76	97.2	109	24.6	21	0.35	0.31
2025年(n=588) 急性転化(75人)	72.7	76	23.3	18	84.4	79.5	74.5	77	100.0	111	25.5	23	0.51	0

図4 各年の1月1日～12月31日退院患者（急性転化を除く）より集計

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
脳性麻痺児に帯する選択的後根切断術の排尿障害改善対果	中嶋 桃子、三宮 奈穂、泉 仁	第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会	6/12～14 京都
外来処方義肢装具の現状報告	和田 恵美子	第 58 回中国四国リハビリテーション医学研究会 第 53 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会	7/13 高知
当院における学生・研修医指導の実情と、高知県のリハビリテーション科医育成の課題	青山 圭	第 58 回中国四国リハビリテーション医学研究会 第 53 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会	7/13 高知
ボツリヌス療法にて健側に筋力低下をきたした若年 3 症例	中嶋 桃子	第 58 回中国四国リハビリテーション医学研究会 第 53 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会	7/13 高知
当院における慢性心不全合併患者の検討	日浦 裕子	第 9 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	10/22～26 北海道
脊髄損傷者における褥瘡発生と FIM の関係	釧持 洋美、宮越 浩一、小澤 里恵	第 9 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	10/22～26 北海道
Efficacy of Bridge Dry Swallowing in Stroke Patients with Esophageal Dysphagia	青山 圭、國枝 顕二郎	The 2nd ADS 2025 International conference	11/5～8 タイ
抗重力位空嚥下訓練にて食道期嚥下障害が著名に改善した食道アカラシアの一例	青山 圭、大東 雄太、岡田 光生、北岡 真由子、梅下 仁、大川 良洋、矢野 慶太郎、山本 萌夢、前田 真佐、町田 彩佳、吉田 莉奈、吉本 崇典、鈴木 龍哉、矢野 佳奈子、齋藤 純子、青野 礼、榮枝 弘司	第 124 回日本消化器病学会四国支部会 第 135 回日本消化器内視鏡学会四国支例会	11/15～16 徳島

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
回復期リハビリテーション病棟のノーリフティングの実践	和田 恵美子	第 7 回高知家ノーリフティングフォーラム	2/1 高知
能登半島地震の JRAT 派遣の実際について	和田 恵美子	第 49 回北部地域医療カンファレンス	3/13 高知
これでマスター！バキューム嚥下と腰上げ(ブリッジ)空嚥下	青山 圭、國枝 顕二郎、岡本 圭史	第 31 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	9/19～20 神奈川

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
どうしていますか下肢装具 回復期リハビリテーション病棟における現状と課題	和田 恵美子	総合リハビリテーション 医学書院	第 53 巻 第 10 号
地域における回復期リハビリテーション病棟の果たすべき役割	和田 恵美子	The Japanese Journal of Rehabilitation medicine 日本リハビリテーション医学会	第 62 巻 第 6 号